（様式⑦　小学校・中学校）

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立　城山台小　学校
校長　西井　義男

中学校区におけるめざす子ども像
自分で目標を作れる子，豊かな人間関係を作れる子の育成

令和8年度　学校教育目標　豊かな人間性の創造をめざし「強く　明るく　考える子」を育てる
重点目標　①自分で目標を持つ　②豊かな人間関係を作る
（研修）○探究的な学習を通して，自立的・主体的な学び手を育てる　（人権）○協働的な学びを通し，お互いに認め合える子どもを育てる

確かな学びの現状
令和7年度の全国学力学習状況調査では，全国平均に対して国語が約3%算数が2%下回った。また，国語・算数の両教科において「知識・技能」を問われる問題，「思考・判断・表現」を問われる問題ともに全国平均に対して2～3%下回った。質問紙調査では，「国語や算数の授業で学習したことが，将来，社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問に90%以上の子どもたちが肯定的な回答をしている。しかし，国語や算数の学習が「好きですか」「得意ですか」の質問項目には課題が見られた。職員の入れ代わりが多く，若い職員が増えていることから，授業力・学校力の向上が急務である。また，堺市の「学びのコンパス」「STEAM」にもとづいた授業づくりを心がけ，児童自ら学習に向かい，基礎基本を定着させながら，個々にあった学びを進められるように授業改善に取り組む必要がある。

豊かな心・健やかな体の現状
令和7年度の全国学力学習状況調査において，「人が困っているときは，進んで助けていますか」では100%，「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」では95%の児童が肯定的な回答をしている。また，「先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」では前年度までと同様に95%の児童が肯定的な回答をしており，教師のポジティブな声かけが児童のポジティブな心情を育てていると確信している。今年度も引き続き，教師のポジティブな視点と支援を意識した教育活動を行っていく。
さらに，今後，予測困難な社会を生き抜くために，強い精神力や他者と協働しようとする態度，たくましい身体を育てていくことが必要であると考える。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組（●重点とする取組　★中学校区での取組）	判断基準（評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（11月）		達成状況(年度末) 自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	主体的に学ぶ子どもの育成と授業改善	教科の本質に迫る探究的な学習と「子どもに委ねる過程」を検討し授業を改善する。	●研究授業を行い，授業の進め方や児童への関わり方を学び合い，授業力向上を図る。	・全学年の校内研究授業や自主研修の実施	・自己評価 ・学校教育アンケート ・各種調査	年度末						
			●自己選択・自己決定・自己調整を意識した学習を進め，学ぶことが楽しいという気持ちを育てる。	・児童が選択，決定できる場面を授業時間内に設定		8月と2月						
			●小集団（ペアやグループ）での対話・交流を増やし，友だちに素直に聞き，意見が言える場面を作る。	・「友だちと話し合うとわかりやすい」の項目で肯定的評価90%以上		8月と2月						
			・「学びのコンパス」に基づいた授業を意識し，ICTの効果的な活用を追求し推進する。	・ICTを活用した学習指導についての実践報告		8月と2月						
			・子ども自身が学習内容を振り返り，次の学習への見通しやめあてをもてるような授業を展開する。	・学習の振り返りの活用についての実践報告		8月と2月						
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした学校づくりに取り組み，いじめや差別を許さない学校，自分の居場所を感じられる学級集団と学校づくりを進める。	・道徳授業を通し，自分と相手との違いを認め，いじめを許さない心情を育てる。	・児童のプリントや振り返りを用いた実践報告	・自己評価 ・学校教育アンケート ・各種調査	8月と2月						
			●ポジティブ支援として，子どもの良さを認める視点を持ち，褒める（認める）声かけを教師が率先して行う。	・「先生は良いところを認めてくれる」の項目で肯定的評価90%以上		8月と2月						
			★小中一貫教育を推進し，日々の教育活動を通して自尊感情を高め，他者を理解する気持ちをもち，助け合い，協力し合うことができる子どもを育てる。	・「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目で肯定的評価90%以上		年度末						
	体力向上	運動に親しむ気持ちと食育への関心を高めることで，心身ともに健やかな子どもの育ちをめざす。	・運動やスポーツの楽しさを実感できる取組や授業の展開を行う。	・「運動をするのが楽しい」の項目で肯定的評価85%以上		年度末						
			・学校給食を通じた食育を充実させ，食への関心を高め，自分の健康について考える子どもを育てる。	・児童のプリントや振り返りを用いた実践報告		年度末						
地域協働	信頼される学校	学校情報を積極的に発信するとともに，保護者や地域住民，関係機関との連携により，学校経営の改善を図る。	・学校ホームページ，学校だより等を活用し，教育活動の現状や，学校・学年・学級での取組の発信に努める。	・「学校は情報発信に努めている」の項目で肯定的評価90%以上	・学校教育アンケート	年度末						
			・保護者，地域ボランティア等の方に可能な範囲で参加していただき，学校経営への参画や学校評価への協力を受け，学校改善を図る。	・可能な範囲での地域ボランティア等への協力依頼	・実践報告	年度末						

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)